

目 次

巻頭言 司法制度と法教育への期待

佐藤 幸治 1

第1編 論 考

〔研究論文〕

弁護士と協働する教師は自身の授業をどう作り上げたか？
 ——中学校教師の社会科授業づくりに関する事例調査に基づく
 探索的検討

橋本 康弘, 橋場 典子 5

歴史カリキュラムは論争問題学習にいかなる貢献が可能か
 ——歴史教育における構成主義・実用主義アプローチの有用性

植原 督詞 17

〔実践報告〕

多様な当事者の考え方の理解を促す法教育授業実践
 ——社会参画による地域の公園のルールづくりを通して

野寄 雄太 29

〔研究ノート〕

法学教養科目の国立大学における現状

金子 宏直 39

教職課程における憲法教育

——教育職員免許法施行規則第66条の6における「日本国憲法」

太田 正行 49

第2編 大会記録

〔基調講演〕

法とは何か

長谷部 恭男 59

〔パネルディスカッション〕

67

憲法教育を法教育の視点から考える

パネリスト：神内 聡, 若槻 健, 植原 督詞, 中野 宏典

司 会：野坂 佳生, 齋藤 宙治

第3編 学会通信

書評・図書紹介 89

法と教育学会規約 94

「法と教育」編集規程 96

「法と教育」投稿規程 96

「法と教育」執筆要領 97

※第2編におけるパネリスト等の所属・肩書は2021年9月時点のもの

その他, 本誌における執筆者の所属・肩書は2022年3月時点のもの